

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

様式第3号

【基本的な事項】

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・ 労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・少数精鋭で業務運営・全員が当事者として、性別や出身を問わずに差別のないチームワーク作りに努めている。 ・雇用・教育・昇進・登用・福利厚生などあらゆる場面において差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与をしている。					○			○		○						○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・就業規則とは別に「ハラスメント防止規定」を策定し、周知徹底をしている。 ・経営企画部企画課をハラスメント対応窓口として設置、周知。 ・不定期に社外のハラスメント研修へ従業員を派遣。							○		○							○	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働を防止するための残業の事前残業申告制やフレックスタイム制度導入。 ・休日出勤の際には可能な限り代休の取得を推奨。									○								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・外国人労働者在籍時には休憩の時間をお祈りの時間に合わせて設定、忘年会や納涼会で提供する食事に配慮、宗教や国の習慣などを全従業員に対して周知徹底。 ・社内にお祈り等に使用できる多目的室を設置済み。							○		○	○							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・安全衛生委員会を設置し毎月安全衛生委員会を開催。 ・社内のモニターにて安全衛生に関する注意事項やルールを表示。							○			○							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・ストレスチェックを毎年実施。 ・24時間相談窓口を設置し、社外の窓口にいつでも相談できる環境を整備。				○													
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・女性比率30%以上を維持。 ・ペトナム人を1名採用予定(2025年11月) ・子育て中の従業員に対し、生活リズムに合わせて時差出勤を許容。 ・介護中の従業員に対し、代休とフレックスタイム制度の併用を許容。						○		○	○	○							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・健康経営のテーマとして働きやすさと働きがいを掲げ、2020年より健康経営に積極的に取り組む。 ・やまなし健康経営優良企業の認証取得 ・健康経営優良法人認定2022年～取得。2024.2025年においては中小企業部門上位500社となるプライト500の認定を取得。				○					○								
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経 済	・山梨県の3UP宣言に参加し、やまなしキャリアアップユニバーシティーにも従業員を派遣。 ・2025年4月より新人事制度を導入、等級ごとの役割を定義し、それに応じた研修機会を提供【予定】						○			○	○							
	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経 済	・パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備、対応を行っている。									○		○						

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・ISO9001の取得認証に基づいて製品の品質と安全性を管理。 ・材料管理システムを導入し、材料の納入から製品出荷までのトレーサビリティを確保。			○									○					
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001の取得認証に基づいて品質を管理。 ・月に1度品質会議を開催。 ・不適合報告書等、品質に関する情報をデータベース化し社内で共有、教育にも展開。									○								
	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	【非該当】 自社製品はなく製品の開発・設計工程はないため。					○							○	○	○	○		
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	【非該当】 自社製品はないため。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
32 社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・自社事業が地域に及ぼす影響・リスクを想定し、把握したうえで、緊急時の対応を策定している。				○				○		○	○	○	○	○	○		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・2025年2月に地域活性化を目的としたオープンファクトリーを実施。今後も継続予定。				○						○		○	○	○	○		
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・地域の原材料を優先的に利用。 ・2025年5月に移転した新社屋では地域の建設・設計会社等を積極的に利用。						○	○		○	○	○						
組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に十分浸透している	基本	社会	・掲示板や全体会議で法令遵守の重要性を発信。 ・2025年4月～新人事制度内でコンプライアンスに関する評価項目を追加。															○		
	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念を毎日朝礼にて復唱。 ・全体会議にて経営トップから継続的に経営理念を周知徹底。 ・毎年3月に行う健康習慣アンケート内で経営理念の浸透状況を確認。									○	○					○		
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・コンプライアンス既定の整備及び定期的な研修の実施【予定】 ・内部通報制度の導入【予定】															○		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・経営企画部企画課を専門部署として整備。															○		
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・リスクアセスメントの定期実施【予定】 ・騒音や粉じんなど、労働環境のモニタリングを定期的に実施。															○		
	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・CSR方針の策定と明文化、従業員への周知徹底と社外への公表【予定】															○		
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・取引先・親会社との対話を適宜実施し、必要に応じてステークホルダーへの影響を説明、対応。														○	○		
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・火災、労働災害、地震等状況に応じたBCPを策定済み、年に1回の避難訓練を実施。									○	○	○	○	○	○	○		

【その他独自に行ってい取組】